

「三重県行財政改革取組」検討ワーキンググループについて

1 設置の趣旨（目的）

平成24年3月に策定し、今年度から本格的に取り組む「三重県行財政改革取組」は、「人づくりの改革」、「財政運営の改革」、「仕組みの改革」の3つを柱として、本県の行財政改革に取り組むことにより、「自立した地域経営」を実現し、「みえ県民力ビジョン」の着実な推進につなげるものです。

「三重県行財政改革取組」で示している個々の具体的取組については、各部局の担当副部長等の指示のもと、各々の取組を担当する課（課長）が主体的に取り組めますが、主要な項目にあたっては、担当課職員だけでなく、庁内から公募した若手職員や現場の実務者、学識経験者による外部アドバイザーなどからなるワーキンググループを立ち上げ、日頃、業務を遂行する中で感じた課題等、幅広い意見を検討に生かすこととしています。

<設置ワーキンググループ>

I 人づくりの改革

「三重県職員人づくり基本方針」検討ワーキンググループ

主担当課：総務部人事課、職員研修センター

アドバイザー：南山大学大学院ビジネス研究科 准教授 安藤 史江（あんどう ふみえ）

II 財政運営の改革

「予算編成プロセスの見直し」検討ワーキンググループ

主担当課：総務部財政課

アドバイザー：関西大学経済学部 非常勤講師 横山 寛和（よこやま ひろかず）

III 仕組みの改革

「政策を推進するための仕組み」検討ワーキンググループ

主担当課：総務部行財政改革推進課

アドバイザー：統計数理研究所 助教 朴 堯星（パク ヨスン）

2 進め方

それぞれの検討項目に対し、現状の検証、課題の確認、現場視点での意見、他県・民間企業等の先進事例研究、外部アドバイザーの専門的見地からの意見などにより議論の充実を図りながら方向性等を整理し、最終的に各具体的取組で策定・構築する方針等の柱部分となる「ワーキンググループ案」をまとめます。

その後、主担当課において、三重県行財政改革推進本部での議論、三重県行財政改革専門委員会でのご意見をいただきながら最終案に取りまとめていきます。

3 活動期間

平成24年4月から平成24年8月末まで

（月1～2回程度の会議、その他メール等を活用した検討）